

工 事 番 号							
設計年度	令和6年度		急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区） 三原市 深町 仕 様 書				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 施工延長 L=30.0m 支柱組立設置工 N=4箇所 山側控えロープ工 N=12本 リングネット工 A=100m2							

特記仕様書

第1章 総則 第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、三原市深町 急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・**土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版**
 - ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・その他関連規格類

第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とする。

第3節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品 1 部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第5節 週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休 2 日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休 2 日工事等実施要領」に基づき実施するものとする。

第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第2章 施工条件

第1節 工程

1 施工時期・時間の制限

施工内容

資材運搬

時期

全工事期間

時間

9:00～15:00（作業可能時間）

施工方法・理由

工事箇所が通学路に近接するため、関係機関と調整を十分に行い、登下校時間は資材の搬出入を極力行わないこと。

第2節 用地

1 現場の復旧

原形復旧とする。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分

事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。

調査区分

（設計変更の対象とする。）

調査時期

施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）

調査内容

柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況

範囲

監督員と協議するものとする

2 騒音防止

管理内容

小学校が隣接するため、事前に調整を行い、騒音等については十分に配慮すること。

時期

全工事期間

第4節 安全対策

1 交通誘導員

作業期間中の交通誘導員は、資材の搬入・搬出時において4人見込んでいる。

2 交通安全施設

受注者は作業時間中、児童等への安全管理を徹底するものとする。

夜間及び休日において、工事区域に保安灯やバリケードの設置を行う等、近隣住民や通学児童への安全対策に努めること。

第5節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

- 4 工事現場の管理体制
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
 - (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
 - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第6節 その他

- 1 工事用機資材等の仮置き場所 受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。
- 2 法定外の労災保険 の付保
 - 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
 - 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
 - 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとす。
- 3 関係機関・自治体との近接協議
内容 工事内容や施工時期について、事前に深小学校及び深放課後児童クラブと協議を行うこと。
- 4 新技術・新工法・特許工法の指定
ネット系待受工について、次のとおり施工すること。
内容 斜面崩壊における崩壊土石等の外力に対応できる待受工として、建設技術審査証明事業（砂防技術）実施要領に基づき、（財）砂防・地すべり技術センターの審査証明を受けた工法とすること。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和5年8月 広島版）『1-1-1-32 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。
なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第2節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出） （建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所	藤鷹工業（株）美ノ郷リサイクルセンター
------	---------------------

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。
- 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m2以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
斜面对策		式		1	レベル1
砂防土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂 小規模	m3		50	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
法面工		式		1	レベル2
支柱組立設置工		式		1	レベル3
資機材搬入・搬出工		式		1	レベル4
本体組立工		式		1	レベル4
材料費		式		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
工事用道路工		式		1	レベル3
足場工		式		1	レベル3
足場	安全ネット無し	式		1	レベル4
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		4	レベル4
直接工事費					

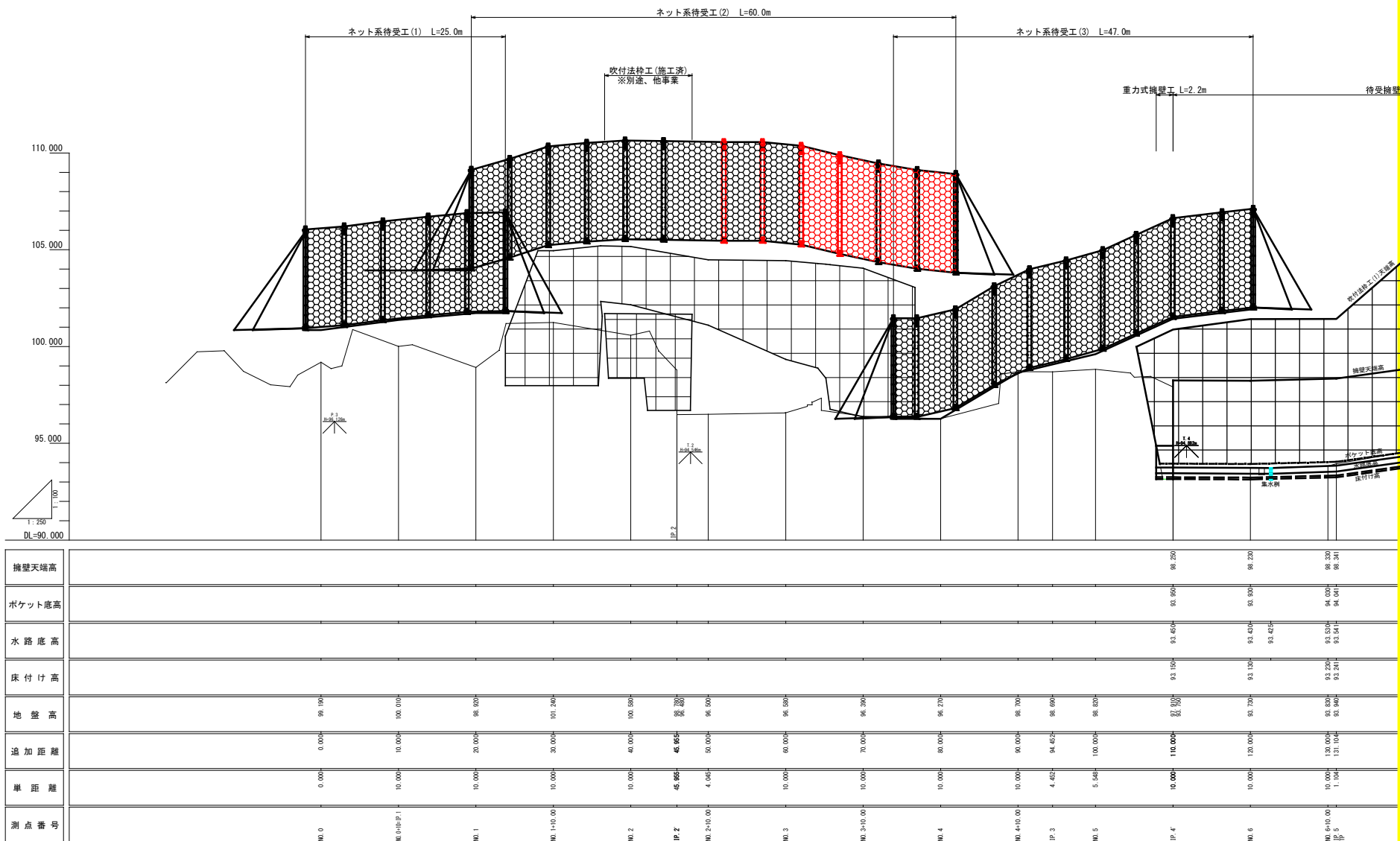
工事数量総括表

頁0 -0002

[illegible]

図面番号	2/4	縮尺	V=1:100 H=1:250
工種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種別	縦断面図	番号	1/1
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

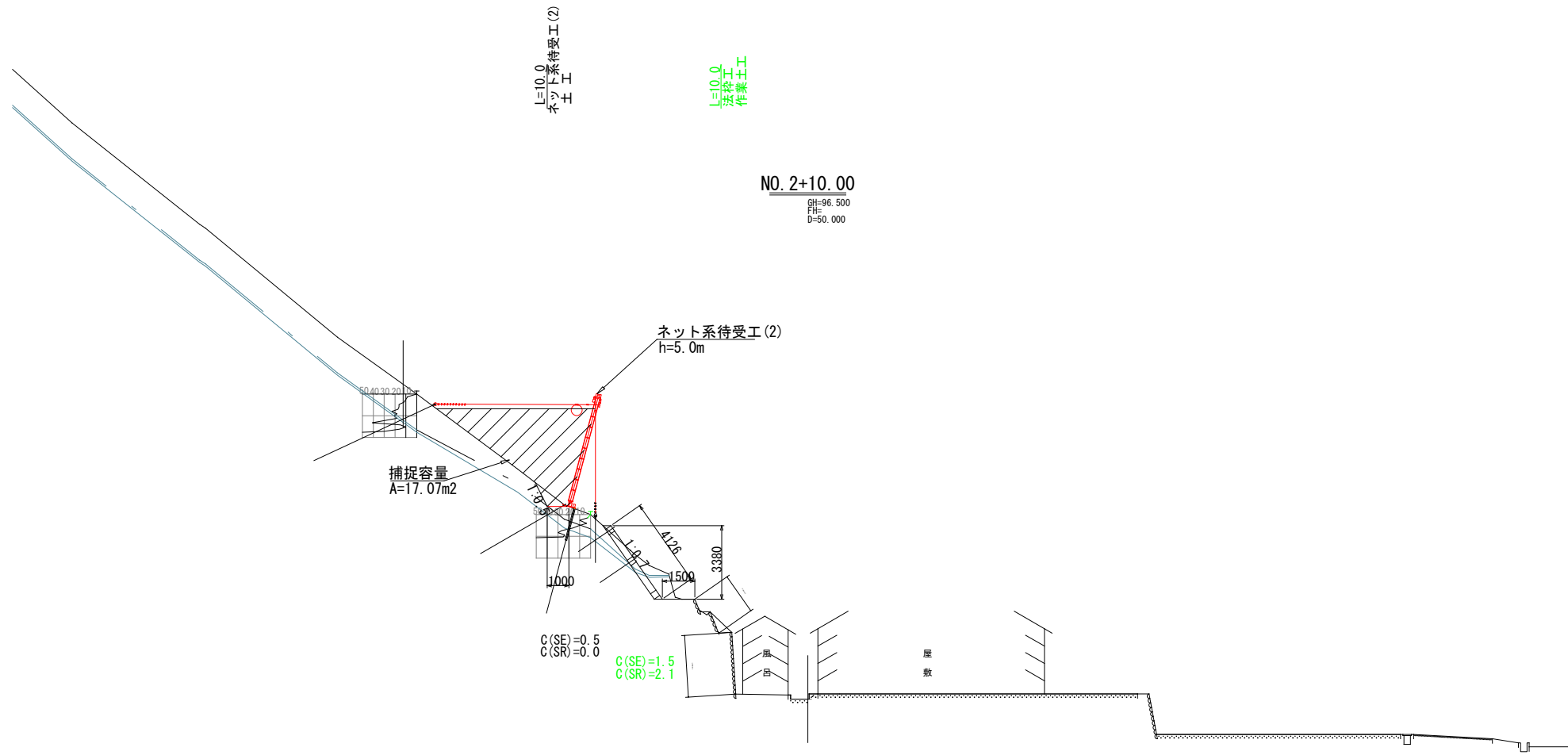
縦断面図



横断図 (1/2)

図面番号	3/4	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種別	横断図	番号	1/2
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

NO. 2+10. 00

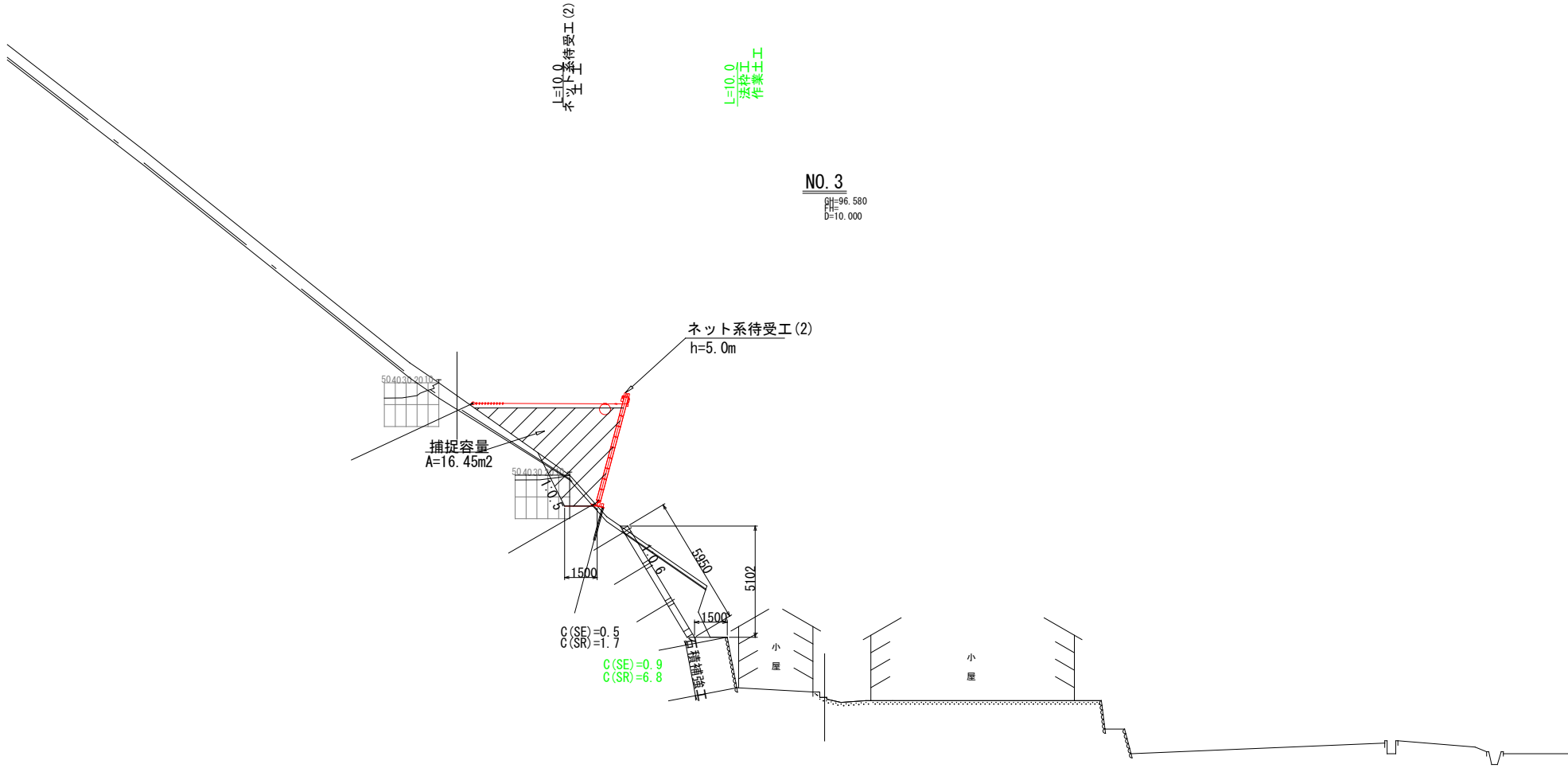


DL=90.000

図面番号	4/4	縮尺	S=1:100
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	横 断 図	番 号	2/2
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

NO. 3

横断図 (2/2)



参 考 資 料

—急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）—

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-06.05.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	07 砂防・地すべり等工事 00 補正なし 00 補正なし 03 4週8休以上 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
	1	式			
砂防土工					Y1D0301 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1D030101 レベル3
	1	式			
掘削 土砂 小規模					Y1D03010101レベル4
	50	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK23040001 00
	50	m3			単第0 -0001 表
残土処理工					Y1D030109 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 土砂					Y1D03010902レベル4
	50	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)					SPK23040002 00
	50	m3			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分	50	m3			Y1D03010903レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 残土	50	m3			F000000200 00
法面工	1	式			Y1D0303 レベル2
支柱組立設置工	1	式			Y1D030301 レベル3
資機材搬入・搬出工	1	式			Y1D03030101レベル4
資機材搬入・搬出工	1	式			V000000100 00
	1	式			単第0 -0003 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1	日			KR006015 00
本体組立工	1	式			Y1D03030103レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支柱組立設置工 柵高=5.0m	4	箇所			V000000200 00 単第0 -0004 表
山側控えロープ工	12	本			V000000300 00 単第0 -0005 表
リングネット工	100	m2			V000000500 00 単第0 -0006 表
材料費	1	式			Y1D03030104レベル4
材料費	1	式			V000000400 00 単第0 -0007 表
仮設工	1	式			Y1D0310 レベル2
工事用道路工	1	式			Y1D031001 レベル3
工事用道路盛土 W=4.0m	50	m3			Y1D03100101レベル4
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満	50	m3			SPK23040004 00 単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
購入土	60	m3			Y1I06040304レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	50	m3			SPK23040002 00 単第0 -0009 表
購入土	60	m3			F000000100 00
足場工	1	式			Y1A041201 レベル3
足場 安全ネット無し	244	空m3			Y1A01070904レベル4
足場工	244	空m3			V000000600 00 単第0 -0010 表
交通管理工	1	式			Y1D031021 レベル3
交通誘導警備員	4	人			Y1D03102101レベル4
交通誘導警備員B	4	人			R0369 00

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額……… 率……………					
※※工事費計※※					
※※契約保証費計※※					

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 28.44%

標準
59.55%

SPK23040001

労務構成比:

材料構成比: 12.01%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0001 表

標準単価: 1,147.40000

1
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	28.44%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	59.55%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0009

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 25.13% 労務構成比: 61.92% 材料構成比: 12.95% 市場単価構成比: 0.00%

SPK23040002
DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)

単第0 -0002 表
1
標準単価: 1,874.60000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.13%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=28 距離6.0km以下(5.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0010

資機材搬入・搬出工

V000000100

單第0 -0003 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

支柱組立設置工

V000000200

單第0 -0004 表

10

箇所 当り

栅高=5.0m

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

山側控えロープ工

V000000300

單第0 -0005 表

10

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

リングネット工

V000000500

單第0 -0006 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

材料費

V000000400

單第0 -0007 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m以上4.0m未満
機械構成比: 16.95%

SPK23040004

単第0 -0008 表

1
標準単価: m3 当り
774.15000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.87%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	8.08%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	65.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.16%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

頁0 -0016

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 46.25%

SPK23040002

DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)

労務構成比: 38.07%

材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0009 表

1

標準単価:

m3

997.58000

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=16 距離5.5km以下(4.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0017

足場工

V000000600

單第0 -0010 表

100

空_m3 当り[illegible]

数 量 総 括 表

－急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）－

本工事(付帯工事)費内訳表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計上数量	摘 要
本工事費								
	土 工							
		掘削工						
			掘削	土砂 小規模	m3	46.1	50.0	
		残土処理工						
			土砂等運搬	小規模	m3	46.1	50.0	
			受入費	土砂	m3	46.1	50.0	
		購入土						
			土砂運搬			46.1	50.0	
			購入土			61.4	60.0	
	法 面 工							
		支柱組立設置工						
			資機材搬入搬出		式	1.0	1.0	
			ラフテレーンクレーン		日	1.0	1.0	
			本体組立工	支柱組立設置工	箇所	4.0	4.0	
				山側控えロープ工	本	12.0	12.0	
				リングネット工	m2	100.0	100.0	
			材料費		式	1.0	1.0	
	仮 設 工							
		足場工						
			単管足場		掛m2	244.0	244.0	
		工事用盛土						
			路体盛土		m3	46.1	50.0	
		交通管理工						
			交通誘導警備員		人	4.0	4.0	

参 考 図

—急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）—

図面番号	1 / 8	縮尺	S=1:100
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	標準断面図	番号	／
路線 河川 名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

標準断面図

吹付法砕工

床掘り余裕幅
プレキャスト製品等の場合

掘削面の高さ	余 裕 幅
1m未満	構造物端から30cmとすることができる。

埋 戻 し

埋戻し種別	埋戻し幅	埋戻し種別	埋戻し幅
A	W2 ≧ 4m	C	1m ≦ W1 ≦ 4m, W2 < 1m
B	W1 ≧ 4m, W2 < 1m	D	W1 ≦ 1m, W2 < 1m

W1：最大埋戻し幅
W2：最小埋戻し幅

NO. 3

GH=96.580
FH
D=10.000

凡 例

- C(SE) 掘削（土砂）
- C(SR) 掘削（軟岩）
- E(SE) 床掘（土砂）
- E(SR) 床掘（軟岩）
- Fu(D) 埋戻(D)
- SL 吹付法砕法長
- I (SE) 切土法面整形（土砂）
- K (SE) 基面整正（土砂）

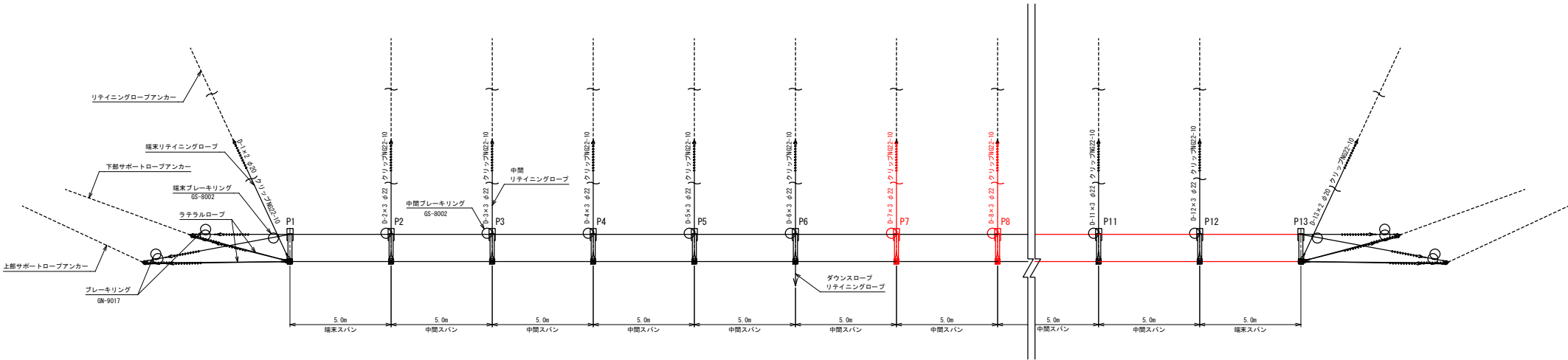
DL=90.000

図面番号	2/8		縮尺	S=1:100	
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）				
種 別	ネット系待受工(2)		構造図	番号	1/2
路線 河川	深小学校上地区				
工事箇所	三原市深町				
三 原 市					

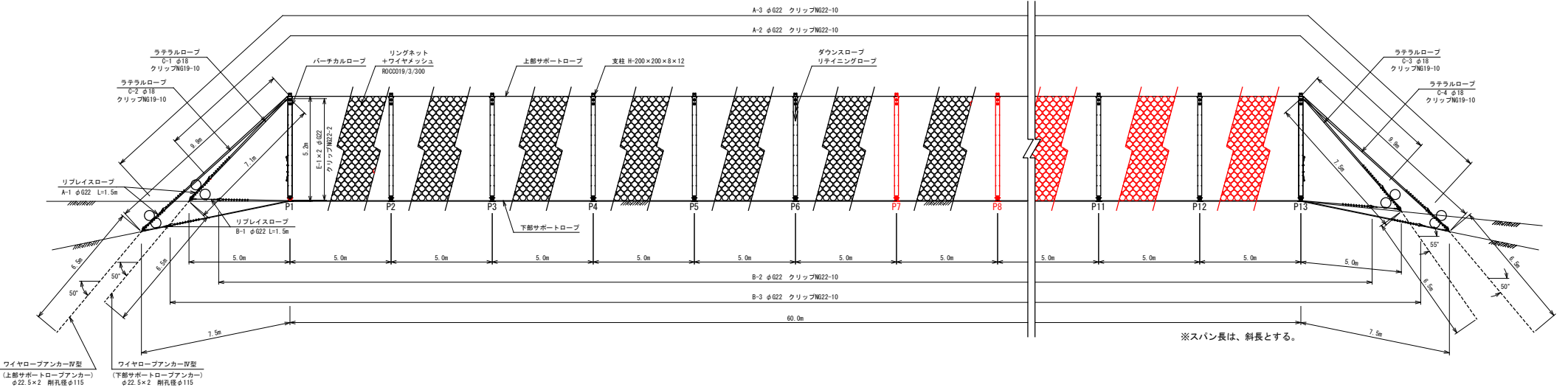
ネット系待受工(2) 構造図(1/2)

延長60m

平面図 S=1/100



展開図 S=1/100

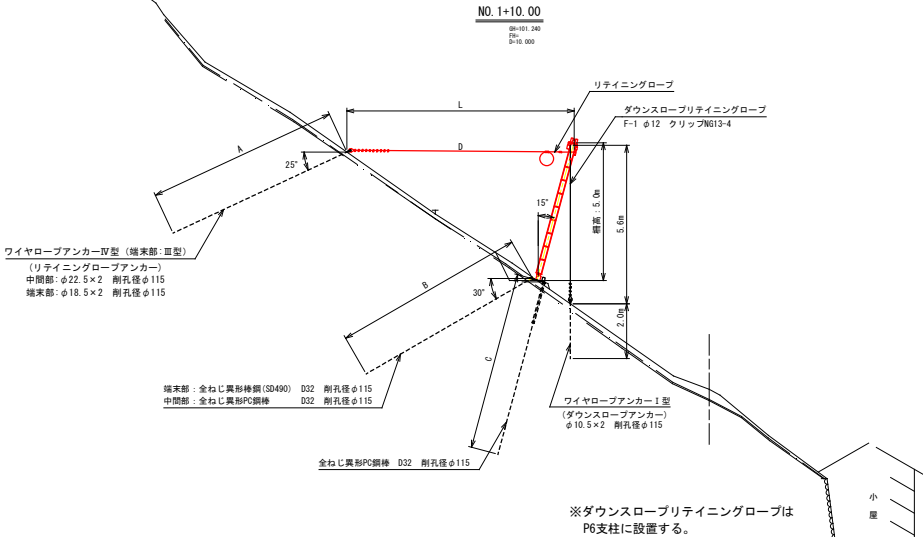


図面番号	3/8		縮尺	S=1:100	
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）				
種 別	ネット系待受工(2)		構造図	番号	2/2
路線 河川 名	深小学校上地区				
工事箇所	三原市深町				
三 原 市					

ネット系待受工(2) 構造図(2/2)

延長60m

断 面 図 S=1/100

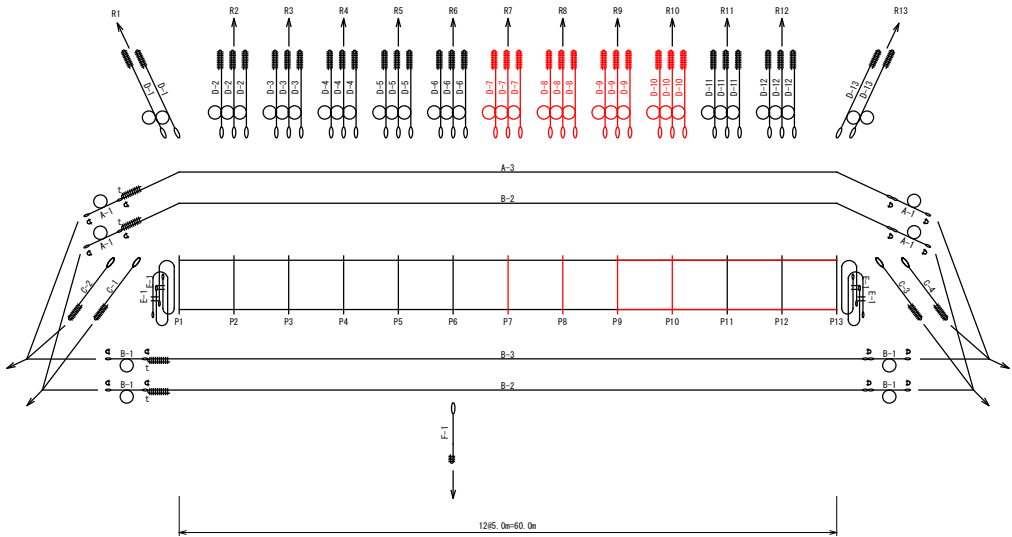


区 分	リテイニングロープ長
	L
D-1	9.8m
D-2	8.1m
D-3	8.6m
D-4	7.9m
D-5	8.6m
D-6	8.7m
D-7	8.1m
D-8	7.7m
D-9	7.4m
D-10	7.4m
D-11	8.2m
D-12	8.2m
D-13	8.8m

区 分	リテイニングロープアカー
	A
R1	4.5m
R2~R5	6.5m
R6, R7	7.5m
R8~R12	6.5m
R13	4.5m

区 分	支柱基礎反力体	
	B（山側）	C（谷側）
P1	4.0m	7.5m
P2~P4	7.0m	5.5m
P5	7.5m	5.5m
P6~P12	7.0m	5.5m
P13	4.0m	7.5m

ワイヤロープ設置図 S=NTS



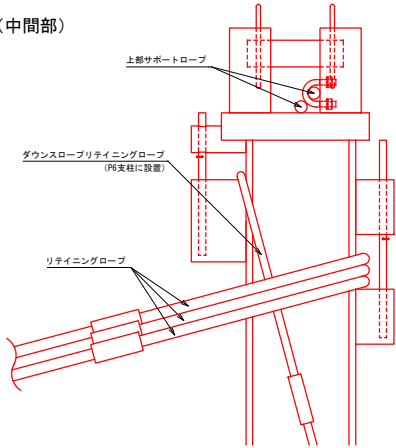
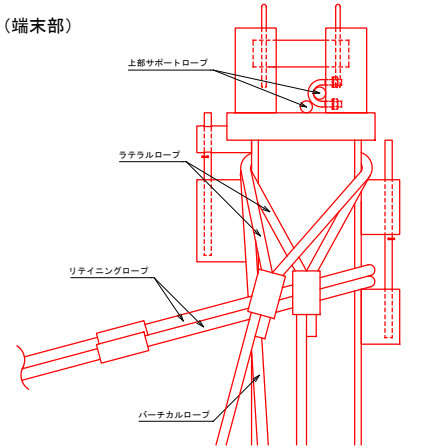
- ※1) 本図は標準図面であり、当該地の地形状況に合わせ、施工時には各ワイヤロープ長を変更する場合がある。
- ※2) t はシャックル止めを示す。
- ※3) t はシンプル使用。

- A：上部サポートロープ
- B：下部サポートロープ
- C：ラテラルロープ
- D：リテイニングロープ
- E：バーチカルロープ
- F：ダウンスロープリテイニングロープ

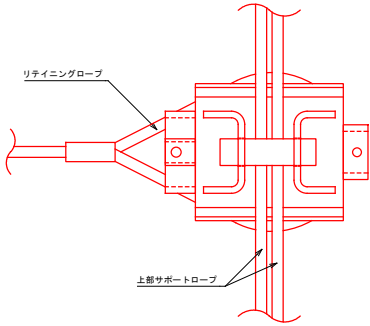
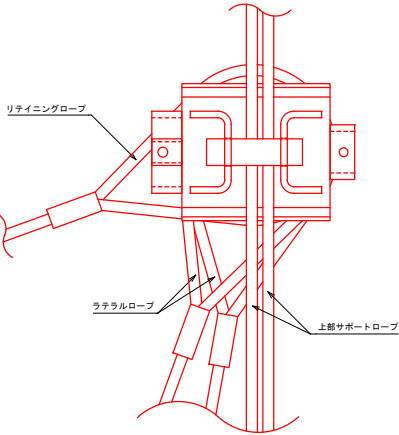
図面番号	4 / 8	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	ネット系待受工(2)詳細図	番 号	1 / 5
路線 河川 名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

ネット系待受工(2) 詳細図(1/5)

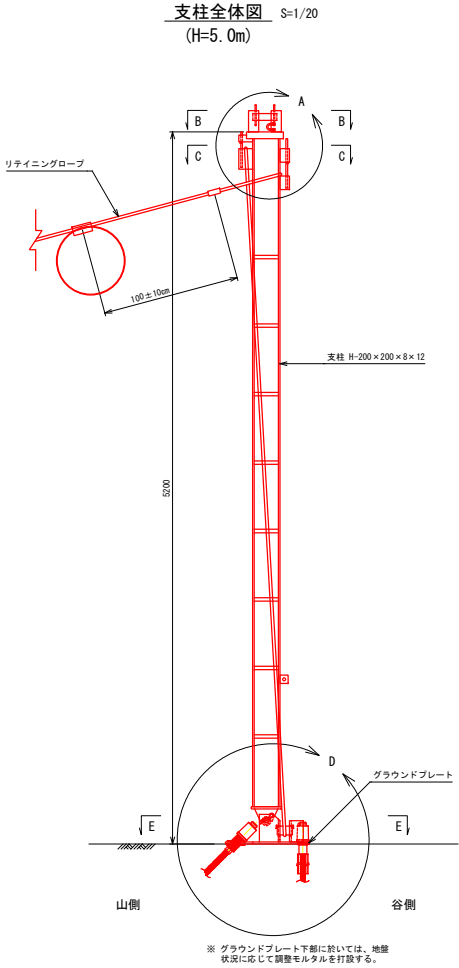
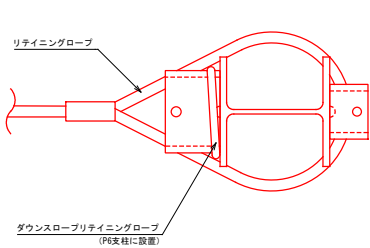
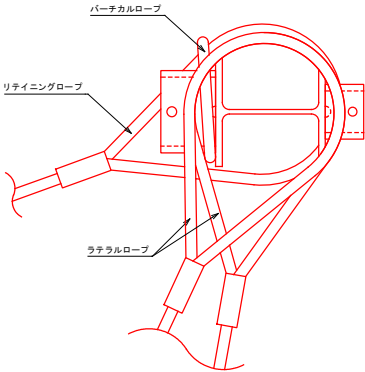
A部詳細図 S=1/5



B-B平面図 S=1/5



C-C平面図 S=1/5

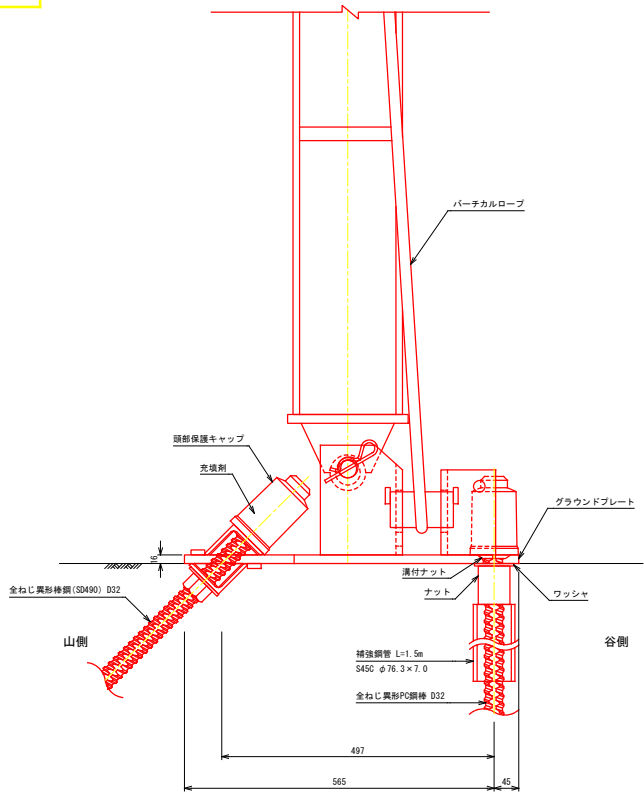


図面番号	5 / 8	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	ネット系待受工(2)詳細図	番 号	2 / 5
路線 河川 名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

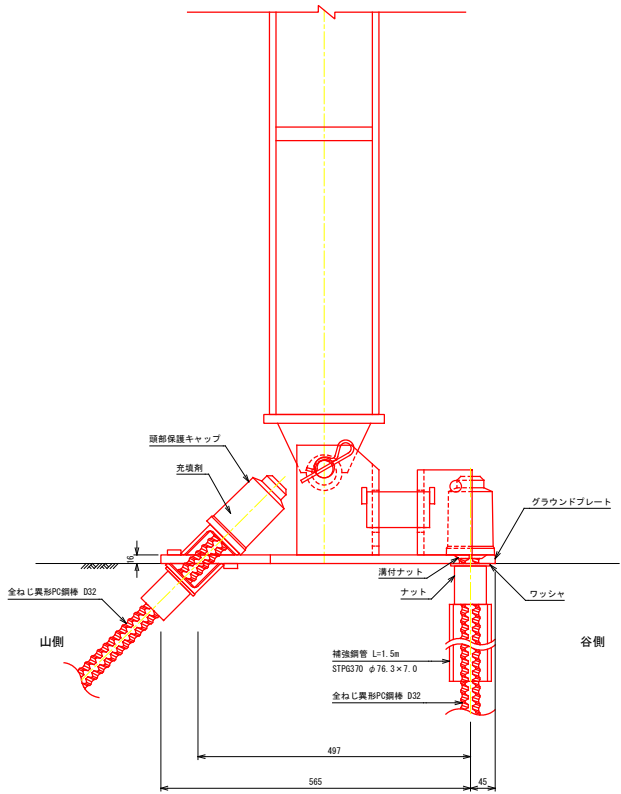
ネット系待受工(2) 詳細図(2/5)

D部詳細図 S=1/5

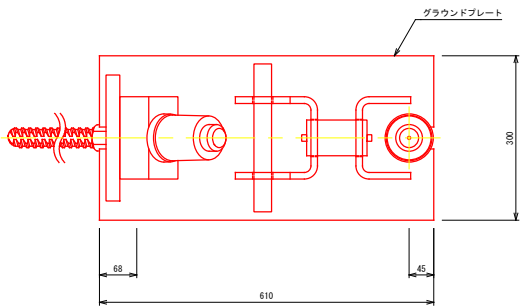
(端末部)



(中間部)

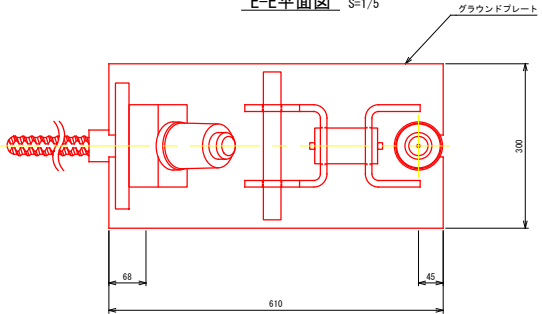


(端末部)



E-E平面図 S=1/5

(中間部)

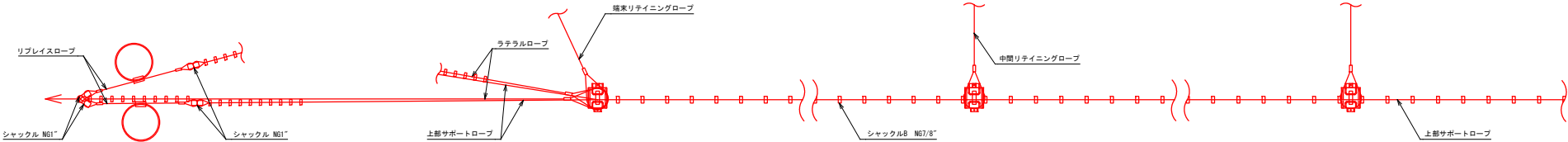


図面番号	6 / 8		縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）			
種 別	ネット系待受工(2)詳細図		番 号	3 / 5
路線 河川 名	深小学校上地区			
工事箇所	三原市深町			
三 原 市				

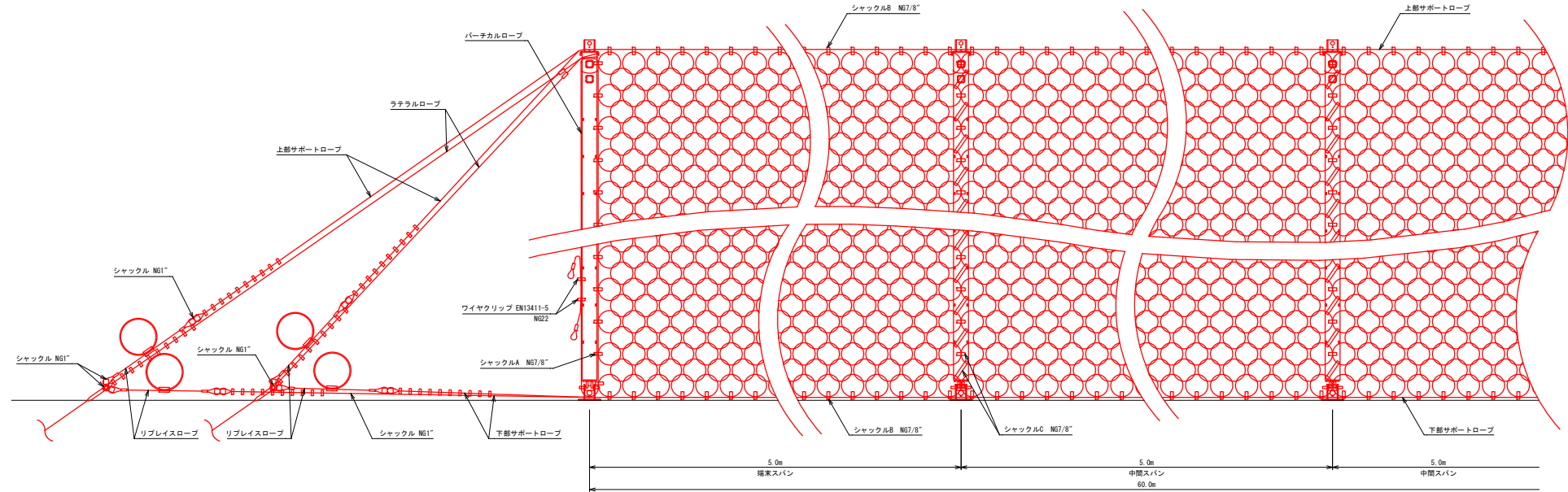
ネット系待受工(2) 詳細図(3/5)

リングネット取付詳細図 S=1/30

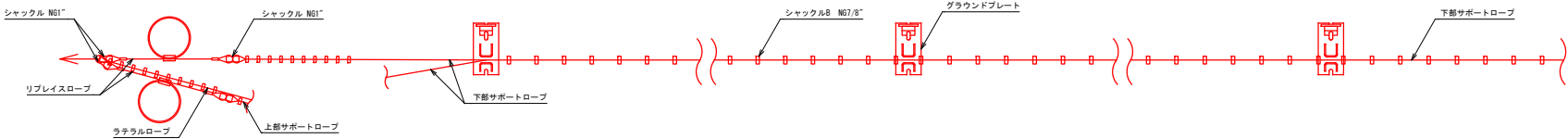
平面図
(上部)



展開図



平面図
(下部)



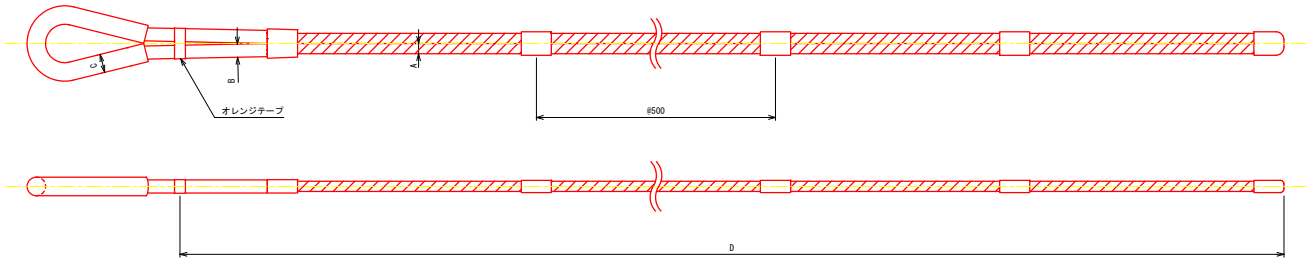
シャックル取り付け個数 (ネット1枚当たり)			
リングネット	シャックル個数(ヶ)		
パネルサイズ (m×m)	A	B	C
縦5.0×横5.0	12	30	23

※ A：パーチカルロープ連結用
B：サポートロープ連結用
C：リングネット連結用

図面番号	7 / 8	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	ネット系待受工(2)詳細図	番 号	4 / 5
路線 河川 名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

ネット系待受工(2) 詳細図(4/5)

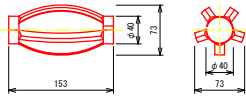
ワイヤロープアンカー



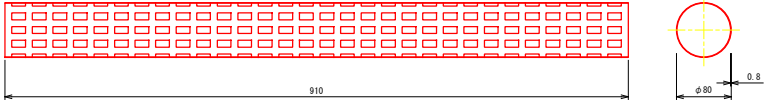
アンカー種別		A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (m)
上部サポートロープアンカー	P1, P13	22.5	32	42.4	6.5
下部サポートロープアンカー	P1, P13	22.5	32	42.4	6.5
ダウンスロープアンカー	P6	10.5	14	21.3	2.0

アンカー種別		A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (m)
端末部リテニングロープアンカー	R1, R13	18.5	25	33.7	4.5
	R2~R5				6.5
中間部リテニングロープアンカー	R6, R7	22.5	32	42.4	7.5
	R8~R12				6.5

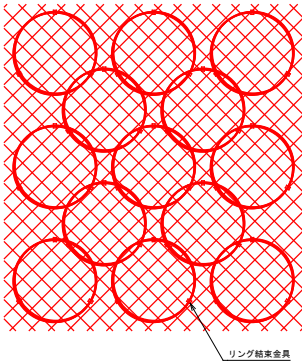
スペーサー S=1/4



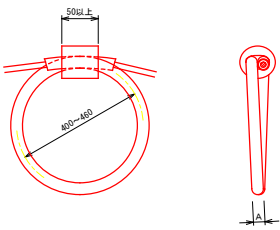
孔壁保護管 S=1/4



リングネット・ワイヤメッシュ S=1/10



ブレーキリング S=1/10



ブレーキリング形式	対応ワイヤロープ径	A (mm)
GS-8002	φ20~22	42.7
GN-9017	φ622	42.4

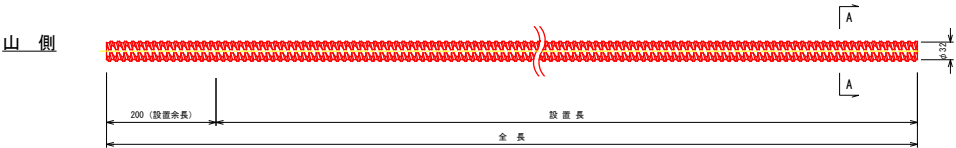
ネット形式	ROCCO 19/3/300
-------	----------------

ワイヤメッシュφ2.4×50
ワイヤメッシュ接続針金 L=120mm（接続箇所数：8ヶ所/㎡）
凡例 ネット形式
ROCCO 19 / 3 / 300
径
線径
巻数

図面番号	8 / 8	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	ネット系待受工(2)詳細図	番 号	5 / 5
路線 河川 名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

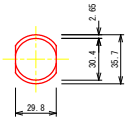
ネット系待受工(2) 詳細図(5/5)

全ねじ異形棒鋼（SD490） S=1/5

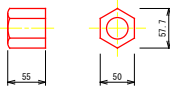


区 分		設置余長 (m)	設 置 長 (m)	全 長 (m)
端末支柱部	P1,P13	0.2	4.0	4.2

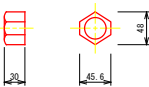
A-A断面図 S=1/2



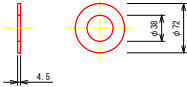
ナット（上部） S=1/4
（亜鉛めっき品）



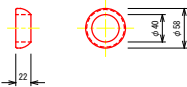
ナット（下部） S=1/4
（亜鉛めっき品）



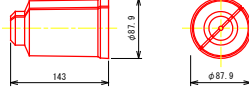
ワッシャ S=1/4



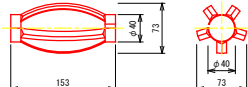
球面ワッシャ S=1/4
（亜鉛めっき品）
谷 側



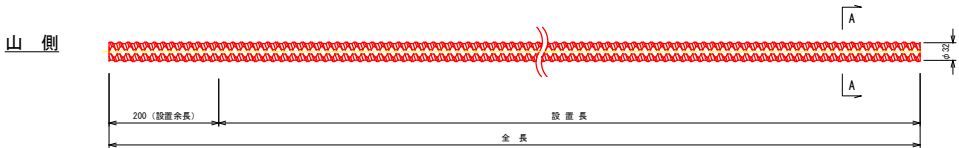
頭部保護キャップ S=1/4



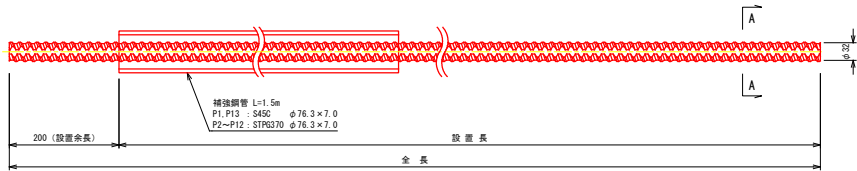
スペーサー S=1/4



全ねじ異形PC鋼棒 S=1/5



谷 側

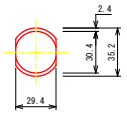


区 分		設置余長 (m)	設 置 長 (m)	全 長 (m)
中間支柱部	P2～P4	0.2	7.0	7.2
	P5	0.2	7.5	7.7
	P6～P12	0.2	7.0	7.2

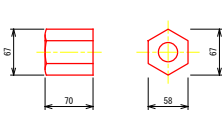
区 分		設置余長 (m)	設 置 長 (m)	全 長 (m)
端末支柱部	P1, P13	0.2	7.5	7.7

区 分		設置余長 (m)	設 置 長 (m)	全 長 (m)
中間支柱部	P2～P12	0.2	5.5	5.7

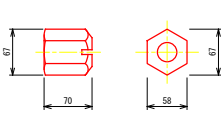
A-A断面図 S=1/2



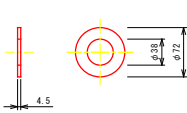
ナット S=1/4



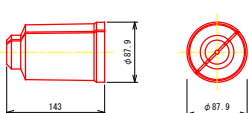
溝付きナット S=1/4



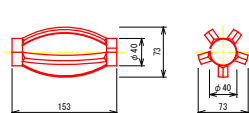
ワッシャ S=1/4



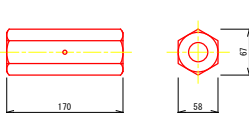
頭部保護キャップ S=1/4



スペーサー S=1/4



カブラー S=1/4



位置図

工事箇所

N
S

尾
道
市

